

地域おこし協力隊を 活用する考えは

隊員の定住につながるよう 活用について検討を進める



山田 洋子
(市民連合クラブ)

議員 地域おこし協力隊は、市の活性化、定住促進につながるが、新規採用と活用についての考えは、**企画財政部長** 隊員を採用するに当たりどのような役割を担っているか、隊員の将来的な定住、定着につながるためにはどのような

な取組が必要か、様々な分野での人材、後継者の確保につながるよう活用について検討を進め、引き続き地域の活性化に向けて取り組んでいきます。

議員 湯ノ台周辺で新たに温泉を掘削する案が出ているが、温泉湧出の可能性は、**農林商工部長** 平成元年の調査で湯ノ台の一部に可能性があり、令和4年度はそれを基に調査、決定する予定です。

議員 新たに温泉を掘削する事業を引湯管更新事業と比較した場合の試算は、**農林商工部長** 現在の概算で、経費や整備期間が削減できるものと考えています。

議員 赤沼駐車場と登山道の整備時期は、

農林商工部長 令和4年度に赤沼周辺の登山道入口の仙人橋付近空き地を駐車場として整備し、登山道の運用は令和5年度からとなる見込みです。



仙人橋付近の駐車場予定地

議員 奥入瀬溪流温泉スキー場管理棟改築が遅れている理由は、**農林商工部長** 設計に当たり建築制限の指導を受け、改めて測量調査を行っているためです。令和3年度末までに測量調査を完了し、令和4年度に設計を行い、令和5年度から工事に着手したいと考えています。

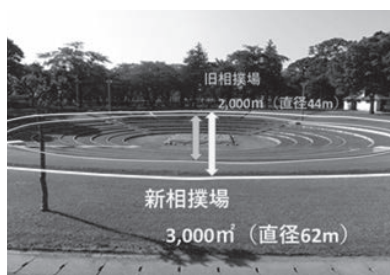
議員 相撲場屋根の整備規模は直径62メートルと聞いていますが、客席に雨が当たらず、多目的に使えるよう直径75メートルに広げる考えは、**市長** 2026年に開催予定の第80回国民スポーツ大会の相撲競技開催に向けた屋根再整備の財源確保には、国の社会資本整備総合交付金を活用するため、県との事前協議で、撤去した屋根の復旧規模の直径約44メートルで内諾を得ておりましたが、関係団体との意見交換で、従来より少し広くしたほうがよいとの意見をまとめ、検討、協議し、直径62メートルの規模を意見交換会で提示後、県と協議を進めているところです。県からは、交付金による整備規模は、おおむね従来の復元程度との厳しい指摘があることから、さらなる拡大は考えていません。



戸 来 伝
(市民連合クラブ)

相撲場屋根の整備規模を 広げる考えは 交付金による整備規模から 拡大は考えていない

議員 相撲場の側溝から側溝の直線が75メートルで、全体に屋根がかかれば、利用者に雨が当たらないため、整備を要望する。



相撲場屋根の整備規模イメージ

議員 相撲場の側溝から側溝の直線が75メートルで、全体に屋根がかかれば、利用者
に雨が当たらないため、整備を要望する。

議員 病院事業会計処理変更後の繰越欠損金の見通しは、**病院事務局長** 資本金の全額を減資し、繰越欠損金に充てた場合でも、30億円を超える欠損金が残ることになります。令和4年度から企業債元金償還金の市繰出金の受入科目変更により、繰越欠損金を縮小したいと考えていますが、令和4年度当初予算の純利益は8000万円程度で、支出の抑制で決算の改善を図っても、繰越欠損金の解消までには相当程度の年数がかかるものと捉えています。